



つくしぐみだより

2017年3月 第5号

花のつぼみも膨らみ始め、少しずつ春の温かい日差しが感じられるようになりました。園庭に出ると子ども達は好きな遊具に向かい、お友達と遊んでいる姿に1年の成長の速さを感じます。

今年度も残りわずかになりました。1日1日を大切に、子ども達と元気に過ごしていきたいと思えます。

保護者の皆様には、たくさんのご協力・ご理解を頂き、ありがとうございました。

こんなことができるようになったよ!

「これなあに？」と絵カードを見せると、いろいろなジェスチャーや鳴きまねで表現をしています。月齢の差はありますが、「わんわん」や「にゃー」など元気に言える子が増えてきました。果物のカードの時には、手を伸ばし食べるマネをして、もぐもぐと口を動かし満足そうな表情をしています。その仕草がとても可愛いので、何度も同じカードを出してしまいます。

この頃は、なんでも自分でやろうとする子が増え、部屋に入ると靴下を自分で脱いでいます。また、戸外に出る時は下駄箱から自分の靴を持ってきて、保育士に靴を履かせてもらおうと嬉しそうに歩いていく姿を見ると、おおきくなったなと実感させられます。

1年間一緒に生活し、たくさんの成長を間近で見守ることが出来、とても幸せで嬉しく思います。



つくしぐみ春夏秋冬



【はる】

6人でスタートしたつくしぐみ。どの子も初めての園生活です。スキンシップを大切に、愛情いっぱい触れ合う中でだんだん笑顔が見られるようになりました。

運動会ではお父さんやお母さんと一緒に参加で、笑顔がたくさん見られました。



【なつ】

園生活にも慣れ、つかまり立ちやハイハイなどが出来るようになった子が増え、行動範囲も広がり、色々な物に興味が出てきました。

毎日暑い日が続いていましたが、水遊びや沐浴をして熱い夏を元気に過ごしました。



【あき】

お友達が増え、笑い声があふれるにぎやかなお部屋になりました。戸外遊びが大好きで、滑り台に行っては楽しそうに何度も滑っていました。ミニカーに乗ったり、砂場でスコップやバケツを持って、お友達と一緒に楽しそうに遊んでいる姿も見られました。



【ふゆ】

クリスマス会では、「むすんでひらいて」や「大きな太鼓」を元気に発表しました。

降り積もった雪を触って大喜びする子もいれば、冷たさにびっくりして泣き出す子もいました。

跳び箱や鉄棒にもチャレンジ。鉄棒のぶら下がりが少しずつ上手に出来るようになってきました。